

II 市町事業

平成29年度 学校・家庭・地域連携推進事業 実施市町一覧

教育支援活動 市町名		地域学校協働活動 (学校支援活動)		えひめ未来塾		放課後 子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援	
		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	チーム数
1	四国中央市	○	13	○	1	○	4			○	1
2	新居浜市	○	16	○	8	○	14	○	1		
3	西条市	○	35	○	3	○	21	○	4	○	
4	今治市					○	2			○	
5	上島町									○	
6	伊予市					○	1			○	1
7	松前町					○	3				
8	砥部町					○	3			○	1
9	久万高原町	○	2			○	1			○	1
10	大洲市	○	1			○	3			○	1
11	内子町					○	3				
12	八幡浜市									○	1
13	伊方町	○	2								
14	西予市			○	2	○	2	○	1	○	1
15	宇和島市	○	2	○	23	○	11			○	1
16	鬼北町	○	7			○	2				
17	愛南町					○	2	○	1	○	1
合 計		8	78	5	37	14	72	4	7	12	9

(中核市の松山市を除く)



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

地域学校協働活動 (学校支援活動)



長寿会の方と池田公園の花の苗植え
(新居浜市 船木校区学校支援地域本部)

①【四国中央市】	川之江南中学校地域学校協働本部	16
②【新居浜市】	船木校区学校支援地域本部	17
③【西条市】	西条市地域学校協働本部	18
④【久万高原町】	面河小学校地域学校協働本部	19
⑤【大洲市】	平野小・中学校地域学校協働本部	20
⑥【伊方町】	三崎中学校区協働活動本部（三崎小）	21
⑦【宇和島市】	吉田中学校地域学校協働本部	22
⑧【鬼北町】	三島小学校地域学校協働本部	23

川之江南中学校地域学校協働本部【四国中央市】

～ 生き生きと活動する子どもたちを地域の力で育てよう ～

◆活動の目的・理念

- 「学校は地域の拠点、子どもは地域の宝」をモットーに地域の教育力を活用し、地域の方とのふれあいを重視して、活力ある学校づくりに励む。
- 安全・安心な地域づくりと青少年の健全育成を推進する。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	1 名	教頭	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整						
教育活動推進員のべ人数	25 人	おやじの会、交通安全協会上分支部長、読み聞かせボランティア代表、PTA役員							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	411 日	32 日	3 日	2 日	日	4 日	75 日	289 日	6 日
ボランティアのべ人数	999 人	113 人	9 人	13 人	人	10 人	92 人	673 人	89 人
連携・協力団体・機関	上分地区交通安全協会、上分公民館、読み聞かせボランティア「南風」、宇摩竹友会、伊予水引金封協同組合「美結会」、大西神社、新居浜工業高等専門学校、日本語支援市民ボランティア、金生川ラバーズ								

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもに寄り添う学習支援

- ・毎月1回朝読書の時間を使って、1・2年生を対象に読み聞かせ活動を行う。
- ・外国籍の生徒に対して、一週間に一度日本語に関する学習支援を行う。
- ・1年生の総合的な学習の時間に金生川の環境と保全に関する学習を支援したり、外国の方を招き外国人から見た地域の様子を話してもらったりする。



(中学生への読み聞かせ)

● 心を豊かにする環境整備

- ・地域の方が四季に合わせて花壇の整備や草花の植え付けを行う。
- ・PTA親子奉仕作業以外にも、年に数回自主的に剪定や除草作業を行う。

● 地域全体で取り組む見守り活動

- ・月に2回PTA役員や地域の方が正門と西門の2か所で登校してくる生徒と挨拶を交わし、登校の様子を見守る。
- ・おやじの会のメンバーが、毎週金曜日に夜間補導見回り活動を行う。
- ・今年度より年に数回おやじの会の有志が、生徒の下校見守り活動を行う。
- ・上分地区交通安全協会の方々が、毎日生徒と一緒に登校指導を行う。



(西門の登校見守り活動)

● 伝統文化の継承活動

- ・伊予水引金封協同組合の方々の指導により、卒業生が水引コサージュを作り、当日、自分の胸元を飾る。

<特色ある取組>

● 地域ふれあい講座

地域のお年寄りから昔の遊びや郷土のことを教えていただき、伝承していくことを目的に、17年前に活動が始まった。「しばきゴマ」や「凧づくり」など開講しなくなった講座もあるが、「藁細工(しめ縄)」や「竹細工(竹とんぼ)」、「お手玉」「水引細工」など現在まで続いている講座が多い。今年度は21講座23会場で実施し、地域から81名の方が講師として参加して下さった。文化祭の一環として行っているため、活動自体はわずか2時間ほどであるが、中学生とのふれあいを楽しみにして下さる講師の方が多く、生徒たちも製作や体験など活動的な内容が中心なので、積極的に講師のアドバイスを受けて意欲的に取り組んでいる。「交通安全お守り作り」講座では、自分たちが作ったお守りを、後日、大型店舗でドライバーに手渡し啓発活動を行った。



(竹細工講座の竹とんぼ製作)

事業を実施して

【成果】

- 地域とのつながりが深まっていくにつれて、生徒の成長が見え、挨拶もしっかりできるようになった。
- 様々な場面で地域の方々が学校に関わることで、地域や学校に誇りと愛着をもつ生徒が増えた。

【課題】

- ホームページで活動報告を行っているが、それ以外でも広報活動を充実させ、協力体制をつくる。
- 今後地域ボランティアの高齢化が一層進むので、活動の継続について検討する必要がある。

船木校区学校支援地域本部【新居浜市】

～地域の力を子どもたちの成長のために～

◆活動の目的・理念

- 見守りを通じ、挨拶ができる子どもを育てる。
- 三世代交流の場として、軽スポーツなどをし、地域の多くの人々と交わることで、豊かな人格形成を目指す。
- 読み聞かせをすることで、想像力を育み、人にも優しい子どもを育てる。

地域コーディネーター	配置	属性	活動内容						
	1 名	公民館主事	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ● 学校支援ボランティアへの連絡と調整 ● 広報・啓発活動(学校だより、公民館報、人材発掘) 						
教育活動推進員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 54 日	4 日	日	日	日	日	日	38 日	12 日	
ボランティアのべ人数 908 人	88 人	人	人	人	人	人	720 人	100 人	
連携・協力団体・機関	船木校区連合自治会、社会福祉協議会、交通安全協会、連合長寿会、楽SPO船木、婦人防火クラブ								

取組の概要

<主な取組内容>

- **心を豊かにする環境整備**
 - ・ 中古テニスボールに切り込みを入れ、小学校の教室の椅子の足にはかせた。
 - ・ 船木の宝である池田池公園の花壇に、年2回、地域と児童が、協力して花植えを実施した。
- **地域全体で取り組む見守り活動**
 - ・ 船木かぶとっ子見守りを実施し、地域全体で小学生児童の下校見守りを実施した。
- **伝統文化講座**
 - ・ 地域の高齢者を招いての七草教室や昔の遊び教室、七夕教室、軽スポーツ教室を実施した。
- **読み聞かせ活動**
 - ・ 年間8回(火曜8:05～8:20)、1年生～3、4年生を対象に読み聞かせを実施した。



(「七夕教室」地域の方と一緒に七夕飾りを作りました)



(「見守り活動」見守り隊と児童たちの対面式)

児童の感想

- ・ 見守り隊の人が、声を掛けてくれるのでうれしいです。
- ・ 紙飛行機が上手に作れて、よく飛んだので、また作って遊びたいです。
- ・ 家にはない本を読んでくれるので、皆で聞くのが楽しみです。
- ・ 椅子を動かした時にいやな音がしないので、気持ちいいです。

<特色ある取組>

● 池田池 花いっぱい運動

船木の宝である池田池公園の花壇に、地域の方、主に長寿会の皆さんと船木小学校3年生が集い、長寿会の方から、花の名前、植え方などを教えていただき、一緒に植える。前もって花壇を整備し、土づくりをしてくださっているので、開花の時期には、満開の花があふれる素晴らしい花壇となり、地域の人の目を楽しませている。

児童の中には、最初手が汚れることに抵抗を感じる様子も見られるが、だんだんと夢中になり、楽しそうに植えていく。土に触れ花を育て、咲いた花を愛でることが情操教育になっている。

また、年に2回、花を介して三世代交流が深まり、とても良い機会となっている。



(「花いっぱい運動」池田池公園の花壇で長寿会の方と花植えをする児童たち)

事業を実施して

【成果】

- 椅子を動かした時の不快感が軽減され、耳に障がいのある児童にも優しい教室となった。
- 児童と高齢者の方が触れ合える場ができ、地域と学校の交流が深まった。
- 子どもたちと触れ合うことにより、地域の方も元氣と若さをもたらしている。

【課題】

- 次世代の後継者の育成。
- 地域コーディネーターの育成。
- 参加者の固定化の解消。
- 地域と学校の意味疎通を図り、お互いの意向に沿った活動の実施。

西条市地域学校協働本部【西条市】

～ICT利活用をサポートするICT支援員の活用～

◆活動の目的・理念

- 未来を担う子どもたちの育成のため、市内の全ての小・中学校に電子黒板や校務支援システム等を導入し、子どもたちの学ぶ意欲と確かな学力の向上、コミュニケーション能力の育成、人間的なふれあいを確保するためのツールとして幅広くICTの活用を推進する。
- 市内の小・中学校にICT支援員を巡回配置し、授業における効果的な活用法を支援するほか、校務支援システム等のサポートも行うことで、校務の情報化にかかる支援等にも積極的に取り組む。また、教職員にとって、いつでも相談できるICT支援員の存在は、教育の情報化を推進するうえで非常に重要であり、教職員の負担軽減及び学校現場の業務改善等についても効果的な取組を進める。

地域コーディネーター	配置	属性		活動内容						
	1	名	元教員		<ul style="list-style-type: none"> ・学校と教育活動推進員等への連絡と調整、支援活動の計画 ・広報・啓発活動(市広報紙) 					
教育活動推進員のべ人数	1,236	人	地域住民							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他		
のべ日数	7,886	日	1,236	日				6,650	日	
ボランティアのべ人数	67,773	人		人				67,773	人	人
連携・協力団体・機関	株式会社ベネッセコーポレーション									

取組の概要

<主な取組内容>

全ての教職員が等しくICTを利活用し、効果的な授業を行うためのサポート(授業補助)

● 個々の教職員の実態に応じた授業支援

授業支援に必要なことは、個々の教職員の状況に応じて段階的な支援をすること。教職員それぞれの状況に応じた適切な支援を行い、「ICT機器を活用してみたい」と感じてもらえるように授業を支援する。そのためにICT機器の活用が、苦手な教職員や子どもたちに対して、ICTを活用する場面では、チームティーチングを行い、授業の中での操作補助や子どもたちへの個別フォローを行った。また、教職員それぞれの授業プランや授業展開にあわせた教材作成や提案を行い、授業での日常的なICT活用を推進している。

児童の感想

- ・タブレットで答えたものが電子黒板に送られて、友達の手元で自分の回答が見えて、勉強が好きになりました。
- ・私は、電子黒板が入ってから授業がとても楽しく、授業が好きになりました。

教職員の感想

- ・授業の情報化により、教材を作る手間を減らせ、教材研究にかけられる時間を子どもと向き合う時間に充てることができます。



(授業支援の様子)



(ICT支援員)

<特色ある取組>

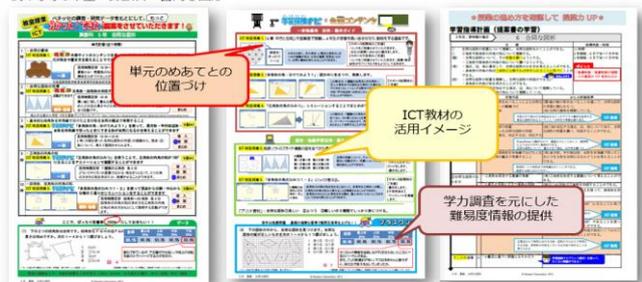
● 各単元の授業提案

単元における効果的な学習指導という観点から、各単元の目的を効果的に達成するためには、ICTをどのように利活用すれば、その効果がさらに高まるかを重視し、教材の提案・授業支援を行っている。

● 各校のニーズに応じた講習会

各校の研修主任等と緊密に連携し、学校の課題を十分に把握し、ICT支援員による校内研修会等を実施。個別の問い合わせに対応し、簡易マニュアルを作成するなどの支援も行っている。

例：小学5年生 算数科 合同な図形



(授業提案書の一例)

事業を実施して

【成果】

- ICTを活用した学力の向上・・・全国学力・学習状況調査：平成27-28年度の全国比として11ポイントアップ
- ICT活用による教職員と児童・生徒との新たなふれあい時間の創出(校務の効率化)：年間一人当たり 114.2時間の創出

【今後の展望】

- ICT支援員の更なる活用を図ることで、学校及び教職員をサポートし、教育の情報化の恩恵を受ける全ての利用者(児童・生徒、教職員及び保護者等)に対し、満足度(CS・ES)を高めていきたい。
- 目標数値・・・学力の向上(全国学テ：7ポイント以上)、校務の効率化(年間120時間以上)をKPIに設定。

面河小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～地域とともに、ふるさと面河を愛する子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 学校と地域の強い結び付きを生かし、地域ぐるみで子どもを守り育てる環境を生かす。
- 学校をはじめ子どもを取り巻く全ての大人に「面河の子どもは地域で育てる」意識を醸成し、関係諸団体との連携を深め、「ふるさと面河を愛する子ども」を育てる。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	4名	主に、現役PTA関係者	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と地域及びボランティアとの連絡・調整 ● 環境整備・学校支援活動等への参加の呼び掛け 						
教育活動推進員のべ人数	22人	役場支所長、公民館長、高齢者支援ハウス所長、老人クラブ連合会長等							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 229日	19日	11日	1日	3日	2日	日	183日	10日	
ボランティアのべ人数 1,196人	121人	100人	100人	3人	142人	人	380人	350人	
連携・協力団体・機関	久万高原町役場面河支所 久万高原警察署・交通安全協会 久万高原消防本部・消防署 おもご高齢者生活支援ハウス 面河山岳博物館 面河万才保存会 老人クラブ連合会面河支部								

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもの豊かな心を育む教育活動

地域の人材を生かし、心身ともに豊かでたくましく生きる子どもを育てるための多様な学習経験の場を設けている。

- ・ 面河万才の指導(地域の方の指導のもと、全校体制で臨む伝統芸能の継承)
- ・ 食文化普及講座(生活研究協議会の協力による郷土料理の調理及び会食)

● 子どもの学校生活を支える環境整備

学校行事の前や長期休業中など年間5回、保護者、地域の方の協力を得て、学校の環境整備を行っている。

- ・ プール清掃、校舎の窓拭き、グラウンドの除草、学校周辺の木々のせん定
- ・ 親子茶摘みに向けての茶畑の整備

● 子どもを地域全体で見守る登下校指導

徒歩通学児童とバス通学児童がおおよそ半数ずつ在籍しており、地域の方(駐在所長を含む)と教職員が協力して見守り活動を行っている。

- ・ 毎日の登校指導(徒歩通学児童の付き添い及び迎え、バス通学児童の迎え)
- ・ 毎月の下校指導(徒歩通学児童の付き添い、バス通学児童の見送り)

● 地域とともに盛り上げる学校行事

学校行事に可能な限り地域の方を招き、子どもの日頃の様子を見ていただいたり、直接行事等に参加していただいたりしている。

- ・ 参観日(保護者だけでなく、地域の方と共に活動する場の設定)
- ・ 交通安全教室(地域の高齢者の方を招いて実施)



(丁寧に指導をいただく面河万才)



(高齢者の方との交通安全教室)

<特色ある取組>

● 面河大運動会

今年度、実行委員会を発足させ、学校主体で実施していた運動会を、地域と協働して企画・運営を行うようにした。中学生や卒業生有志、地域の団体、高齢者等も参加し、地域全体で盛り上がる運動会となっている。

● 親子茶摘み・防火お茶配り

地域の方に提供していただいた茶畑で、地域の方の指導のもと、茶を摘み取る。摘み取った後は、茶煎り、茶もみをし、乾燥させる。この茶は、子どもと保護者が防火を呼び掛けながら、地域の高齢者に届けている。



(地域全体で盛り上がった面河大運動会)

事業を実施して

【成果】

- 地域の方々が大変協力的で、事業が円滑に進んでいるため、子どもにとって価値ある経験を積むことができている。
- 地域の特色を生かした事業の推進により、ふるさとを愛する心をもつ子どもを育てることにつながっている。

【課題】

- 単年でなく、継続的に地域コーディネーターを担っていただける人材を発掘する必要がある。
- 学校規模は年々縮小している。事業を精選し、子ども主体の活動内容を創造していくことが望まれる。

平野小・中学校地域学校協働本部【大洲市】

～ふるさと平野を愛する子どもたちを、地域で育てよう～

◆活動の目的・理念

- 「ふるさと学習」を軸とし、系統性を重視した小中一貫教育を推進していく。
- 義務教育9年間を連続した期間ととらえ、発達段階に応じた一貫性のある指導を行う。
- 学校・家庭・地域が今まで以上に連携・協働し、地域住民等の幅広い参画により、子どもたちの成長を支える。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	1名	PTA会長	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(ふるさと学習通信「いころの里通信」発行)						
教育活動推進員のべ人数	45人	公民館長、自治会長、平地上分館、社会福祉協議会、民生児童委員、主任児童委員、平野交通安全協会、児童生徒を守り育てる協議会、鶴寿会、煙友会、琴伝流、農家の方等							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	94日	2日	2日		22日		35日	33日	
ボランティアのべ人数	510人	13人	104人		100人		257人	36人	
連携・協力団体・機関	平野公民館、平野自治会、平地上分館、社会福祉協議会、民生児童委員、主任児童委員、平野交通安全協会、児童生徒を守り育てる協議会、鶴寿会、煙友会、琴伝流、JA平野支所、平野駐在所、平野郵便局、JR平野駅、谷本建設工業他								

取組の概要

<主な取組内容>

- **ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習**
 - ・発達段階に応じた「ふるさと学習」(郷土の歴史や自然・文化・産業)(中学生・・・徳馬田の米作り、地元サロンとの交流、地域調べ等)(小学生・・・平地上分館での田植え・稲刈り・餅つき、戦争体験講話、大正琴、ふるさとの川調べ、炭焼き体験、鶴寿会との交流等)
 - ・小中学校の教員による乗り入れ指導(T・T)
 - ・異年齢集団での学びを深めるための、園児・児童・生徒が合同で行う活動(花いっぱい運動・クリーン運動・ふれあいタイム・ウェルカムデー)
- **心を豊かにする環境整備**
 - ・花いっぱい運動(春・秋)・クリーン運動(カーブミラー・ガードレール磨き)
 - ・夏季休業中の親子奉仕活動(校内環境整備)
- **地域全体で取り組む見守り活動**
 - ・交通安全教室・PTA登校指導・救命救急講習・プール監視等



(徳馬田の米作り)



(花いっぱい運動)

児童・生徒の感想

- ・大切に育ててきた苗を丁寧に植えることができたので良かった。(中2:徳馬田の田植え)
- ・戦争はしてはいけないことなのだと思います。「死にたいと思っていた人は一人もいない」という言葉が心に残った。(小6:戦争体験講話)

<特色ある取組>

- **平野ふれあい運動会**
幼稚園・小学校・中学校が同じ敷地内にある特色を生かし、地域自治体と学校が、一緒になって取り組む、他にはない自慢の運動会で、今年で19年目を迎える。
- **徳馬田の米作り**
大正時代、製糸業を営んでいた柁谷徳馬氏が、子どもたちのために農業実習地として学校に寄付していただいた田んぼを利用し、中学2年生が中心となって、もみまきから田植え、稲刈り、脱穀、販売までを行っている。



(平野ふれあい運動会)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちは自分たちが住んでいる地域の良さを再認識し、地域の中で自分たちができることは何かを考え行動できるようになった。
- 広報「いころの里通信」を通して、子どもたちの活動を地域の方に広く知ってもらえた。

【課題】

- 学校が取り組んでいる「ふるさと学習」についてのアイデアを募り、更なる充実を図る。
- 地域ボランティアの発掘(ボランティアバンク)に努める。
- 学校からだけでなく、今後は地域からの要望も取り入れた活動を実施したい。

三崎中学校区協働活動本部(三崎小)【伊方町】

～地域ぐるみで三崎の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てていく。
- 地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、子どもたちを支えるだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図る。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	1	名	元教員		・学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整) ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集				
教育活動推進員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	44 日	5 日	日	日	日	1 日	日	15 日	23 日
ボランティアのべ人数	130 人	22 人	人	人	人	4 人	人	30 人	74 人
連携・協力団体・機関	三崎公民館、伊方町社会福祉協議会、伊方町老人クラブ連合会、町立図書館、三崎小学校PTA								

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援への取組**
 - ・生活科や、総合的な学習の時間の体験活動支援、読み聞かせなどを実施。
- **登下校の安全確保**
 - ・子どもたちの登校時間に合わせて街角に立ち、安全確保と声掛け運動を実施。
- **校内環境整備への協力**
 - ・樹木の消毒・せん定、運動場の草引きなどの実施。

三崎小学校 1・2年生 サツマイモの栽培体験



(「苗植え」6月)



(「収穫」10月)

児童の感想

- ・大きいお芋はなかなか掘れなかったけど、掘れた時にはすごくうれしかったです。
- ・掘るのが難しかったです。お芋を動かしたら目の形になりました。おもしろかったです。
- ・お芋掘りは楽しかったです。一緒にお芋掘りしてくれてありがとうございます。
- ・大きいお芋が掘れたから、お母さんが喜んでくれました。みんなで食べました。
- ・1年生の時には芋が収穫できなかったのですが、今年のはうれしかったです。とても大きい芋が掘れました。楽しい思い出ができました。
- ・柵が頑丈で、猪に食べられませんでした。でっかい芋がたくさんとれました。

<特色ある取組>

● 先人の知恵に学ぶ

伊方町が位置する佐田岬半島では、昭和40年頃までさき織りで作られた仕事着を使用していた。このさき織りは、古い木綿を裂いたものを横糸に使用した織物で、現代人が学ぶべき先人のものを大切にする心、リサイクルの精神が込められている。

三崎小学校では、この素晴らしい思いのこもったさき織りに学ぼうとさき織り体験学習を行っている。今年は3・4年生が学校近くの「三崎オリコの里」でさき織り作りに挑戦した。参加した児童は布ができる楽しさを学ぶとともに先人の知恵に触れることのできた良い機会となった。



(さき織り体験学習)

事業を実施して

【成果】

- 地域の方々の力が、学校支援ボランティア活動を通して、学校教育活動の充実に役立っている。
- 学校を支援する活動を通して、ボランティアも学校や子どもたちとのつながりができ、地域ぐるみで子どもたちを育てるという意識が高まってきた。

【課題】

- 一方向的な「支援」から地域と学校、双方向の「連携・協働」型の活動へと推進していきたい。

吉田中学校地域学校協働本部【宇和島市】

～地域の教育力向上を目指して～

◆活動の目的・理念

- 地域と学校をつなぎ、『地域とともにある学校』を実現する。
- 教職員の負担軽減を図る。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	1名		元教員	元PTA会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアに関する学校とボランティアとの連絡調整 ・ボランティア活動に係る報告書の作成及び行政担当者との連絡調整 ・広報・啓発活動及び新規ボランティアの発掘 				
教育活動推進員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 190日	50日	10日	日	日	20日	日	日	110日	
ボランティアのべ人数 1,000人	150人	20人	人	人	70人	人	人	760人	
連携・協力団体・機関	公民館、婦人会、老人クラブ、自治会								

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援**
 - ・地域のボランティアによる、学教教育活動への支援を実施している。
- **環境整備活動**
 - ・リサイクル資源回収等の環境整備は、少ない教職員では対応できないため、定期的にボランティアをお願いし、作業を行っている。



(リサイクル資源回収)

<特色ある取組>

● 『吉中未来塾』について

平成28年9月にスタートした本取組は、吉中生の進路実現を図るため、希望者に対する課外学習を行っている。学力向上はもとより、国際化に対応できる人材を育成するための英会話講座の実施や、郷土愛を育むふるさと学習の実施等、地域人材を活用した多様な学習機会を提供している。



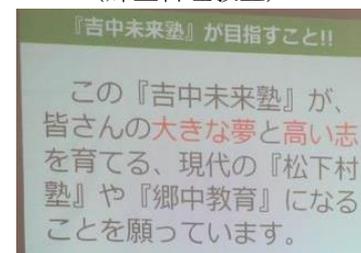
(郷土料理教室)



(「開講式」校長の説明)



(真剣に取り組む様子)



(夢を実現させるために・・・)

事業を実施して

【成果】

- 支援ボランティアの組織化による、継続的な支援活動の実現。
- 支援ボランティアが学校現場に入ることによる、生徒・教職員と地域のつながりの強化。
- 社会貢献をしたという実感による支援ボランティアの喜びや充実感。

【課題】

- 本事業は平成28年度にスタートしたばかりであるが、地道な広報活動等により徐々にその取組が地域に浸透しつつある。今後は、新規ボランティアのさらなる発掘を目指すとともに、地域ぐるみでの活動を継続させるための工夫が必要である。

三島小学校地域学校協働本部【鬼北町】

～地域とともにある学校づくり～

◆活動の目的・理念

- 三島地区に受け継がれてきた伝統や文化を、学校教育に効果的に取り入れる。
- 地域の組織や人々との連携・協働の体制を維持・発展させ、地域の教育力を学校教育に取り入れる。
- 地域を知り、地域を愛し、地域に生きる児童の育成に努める。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	1 名	町職員	・学校行事・地域行事に即した支援活動の計画 ・学校支援ボランティアとの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより等)						
教育活動推進員のべ人数	40 人	公民館長、有識者、老人クラブ会長、畜産業者、地元企業社長等							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	263 日	26 日	日	日	18 日	日	202 日	17 日	
ボランティアのべ人数	2,449 人	100 人	人	人	189 人	人	1,414 人	746 人	
連携・協力団体・機関	三島公民館、三島老人クラブ、三島自治会、宇和島地区広域事務組合、小松保育所 県立北宇和高等学校、地元企業等								

取組の概要

<主な取組内容>

- **子どもに寄り添う学習支援**
 - ・ 歴史学習 ・ 生活科・社会科見学 ・ 地元の産業学習
 - ・ 県立北宇和高等学校との連携学習 ・ 福祉学習
- **学校を支える環境整備**
 - ・ 老人クラブによる樹木のせん定、除草作業
 - ・ 三島大運動会前の奉仕活動
 - ・ PTA奉仕作業と連携した公民館関連団体の奉仕作業
- **登下校の見守り活動**
 - ・ 登下校時の見守り活動
- **学校行事への参画と合同行事の実施**
 - ・ 三島大運動会 ・ 三島農民祭り・総合文化祭



(「環境整備」老人クラブ)



(「歴史学習」御開山の歴史)

児童の感想

- ・ 地元に「開拓」を目指し、努力した人々がいたり、大きな会社があって多くの人が働いていたことを初めて知ることができた。(6年 歴史学習より)
- ・ 地元に残り、地元の産業の発展のために頑張っている人がいて、とてもうれしく思った。(4年 三島の産業学習より)

<特色ある取組>

- **三島農民祭・総合文化祭**
地区の農民祭として、小学校の学芸会、地区の文化祭、自治会主催の農業祭などを合同で行い、地区内の人が多く参加される。その中では、小学生も「地区住民の一人」としての自覚が持てる。
- **保小合同避難訓練**
火災を想定した避難訓練を実施するにあたり、小学生が隣接する保育所の園児たちを安全に避難誘導したり、職員同士が協力し合って子どもたちの安全を確保したりする訓練を行う。



(園児を避難誘導する小学生)

事業を実施して

【成果】

- 事業の導入により、地域の方との連携が円滑に行えるようになった。
- 支援していただける方々の横の連携ができるようになり、より効率的・効果的な活動になった。
- 子どもたちが地域の方と顔見知りになったり、名前を覚えていたりするなど、結びつきが深まった。

【課題】

- さらに活動を工夫することで、多くの方々と学校との関わりができ、地域の方にとって学校が身近なものとなるよう努めたい。
- 通信やホームページなどを通じて、広報活動を行い、広く活動を知ってもらえるよう充実を図りたい。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

えひめ未来塾



たくさんの指導者の方に教えてもらって
(西予市 学び舎事業)

- | | |
|-------------------------|----|
| ①【四国中央市】新宮小中学校放課後わくわく教室 | 26 |
| ②【新居浜市】放課後まなび塾 | 27 |
| ③【西条市】飯岡玉うさぎ塾 | 28 |
| ④【西予市】西予市学び舎事業 | 29 |
| ⑤【宇和島市】宇和島市補充学習事業 | 30 |

新宮小中学校放課後わくわく教室【四国中央市】

～山間部における子どもの学習支援～

◆活動の目的・理念

- 児童の学習習慣の定着と学力向上
- 児童一人一人の習熟度に応じた丁寧な学習指導の実施
- 多様な学習機会の提供による心豊かな健全育成

活動場所	新宮小中学校	対象児童・生徒	小学1年生～6年生	対象学校区名	新宮小中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	157	日	毎週月～金曜日	15 : 00 ～ 18 : 00
	土・日・休業日等		日	夏季休業中の月～金	: ~ :
児童・生徒の平均参加人数	20.2	人/日	学習支援員	3.3	人/日 教員OB、地域住民ボランティア
教育活動サポーターのべ人数	30	人	ALT(外国語指導助手)	ボランティアのべ人数	人
活動内容	宿題や復習の学習支援、学習習慣の育成、英会話や体力づくり・ものづくりなど学習機会の提供			参加者募集	各小学校を通じて案内文書を配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

● 宿題にじっくり取り組もう

- ・ 学校から提出された宿題を中心に学習に取り組んでいる。宿題で分からないところがあれば、教員OBの学習支援員が児童一人一人に習熟度に応じた学習指導を丁寧に行っている。また、わくわく教室で準備したプリントなどにも取り組むことができ、学習支援員と相談しながら苦手なところを重点的に教えてもらうなど、個性や能力に応じたきめ細やかな指導が可能となっている。

● 英会話や体力づくりなど多様な学習機会を提供

- ・ 学校の指導方針で小学1年生から英語に親しむ活動が行われていることから、ALTと連携し、高学年・低学年に分かれた英会話教室を週1回開催している。また、講師の特技(専門性)を活かしたスポーツ教室も週2回開催され、陸上や球技など楽しく体を動かしながら体力と運動技術の向上を図っている。

● 学校や家庭との連携

- ・ 毎月1回、学校と学習支援員と一緒に定例会を開催し、児童一人一人の学習の進捗度や特性を確認し、より良い学習指導・支援方法を毎回検討し、実施している。家庭には、毎月児童の参加予定日を聞き、家庭でも学習機会を設けるようしている。

児童の感想(学習意欲の向上)

- ・ 勉強で分からないところを教えてくれる、おもしろい先生や楽しい先生がいます。
- ・ 英会話教室では、楽しいゲームを考えてくれるので、英語が一番楽しいです。



(学習指導の様子)

<特色ある取組>

● 学校と連携した教員OBによるきめ細やかな学習指導

教員OBが学習支援員となり、学校との連携を密に行うことで、児童一人一人に合ったきめ細やかな学習指導を実施することが可能となっている。

例えば、学校と学習支援員が話し合い、課題を確認しながら学習の積み重ね・習慣化による成就感を高めようと宿題の量を調整することもある。

また、学習のみに限らず、さまざまな場面における児童の特性を十分に共有し、長所を伸ばせられるよう、自己有用感につながる役割を与えるよう指導をしている。



(学校と学習指導員の定例会)

事業を実施して

【成果】

- 児童の学習に対する意欲向上が見られるようになり、学習の定着が図られるようになった。
- スポーツ指導では、異学年同士の交流もあり、縦のつながりを通じたコミュニケーション力や思いやりの心が育まれている。

【課題】

- 保護者などに家庭学習の重要性を理解してもらい家庭においても学習の習慣化を図りたい。
- 市の中心部から離れた山間部の学校で実施されているため、学習支援員の確保が難しい。

放課後まなび塾【新居浜市】

～学習習慣の定着と学力向上を目指して～

◆活動の目的・理念

- 社会の変化の中で放課後への多様なニーズに応える。
- 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていない児童への地域と学校の連携・協働による学習支援を実施したりする。

活動場所	小学校・公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	宮西小学校 他8校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	各160	日	月～金	16 : 00 ～ 18 : 00
	土・日・休業日等		日	水	15 : 00 ～ 18 : 00
児童・生徒の平均参加人数	1箇所40	人/日	学習支援員	1箇所3	人/日 教員OB、教員免許所持者ほか
教育活動サポーターのべ人数	人			ボランティアのべ人数	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、タブレットPCを使った個別学習		参加者募集	各小学校を通じて申込書を配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- 月～金まで毎日実施
 - ・ 学習習慣の定着を図るために、月曜日から金曜日の授業日は、毎日まなび塾を開催。児童は、放課後の時間帯、小学校や公民館で安心して学習活動に取り組んでいる。
- 希望すれば誰でも参加できる
 - ・ 保護者の就労の有無にかかわらず、小学4年生から6年生の児童は、希望すれば誰でも利用可。多くの児童が参加できるように、まなび塾の参加料は無料。
- 児童の自主的な学習を支援
 - ・ 児童の自主的な学習を支援し、分からない場合等に学習支援員がサポート。タブレットの学習ソフトによる個別学習にも取り組んでいる。
- 学校との連携
 - ・ 先生がまなび塾の様子を見に来てくれたり、学習支援員から児童の頑張っているところを先生に報告したりするなどして連携をしている。担任の先生と学習支援員が指導等についての意見交換会を実施。



(教室での学習の様子)



(タブレットによる個別学習)

児童の感想

- ・ 時間を決めていいるから、その時間まで頑張れる。勉強が楽しくなった。
- ・ 家では、お母さんたちは忙しくて教えてくれる暇がないけど、先生が教えてくれて嬉しい。

<特色ある取組>

● 放課後対策の充実

小学生の放課後の時間帯は非常に大事な時間で新居浜市教育委員会では、児童の学習習慣の定着による学習習慣の定着による学力向上を図る面だけでなく、放課後の安全、安心な居場所づくり、共働き世帯への家庭支援、低所得世帯への経済的支援の側面など、放課後まなび塾の事業に多くの目的や意義を掲げている。

今後は、放課後児童クラブや放課後子ども教室事業との一体的な運営についても検討し、放課後対策事業のさらなる充実を図りたい。

事業を実施して

【成果】

- まなび塾の利用により、児童の意欲の向上や学習習慣の定着が図られている。
- 学力向上面はすぐに結果が出るものではなくしばらく時間を要するものと考えている。

【課題】

- 学習支援員の確保に苦慮しており、全校区に設置できていない。地域住民や高校生等の活用について検討。
- ICT機器のさらなる活用など学習支援の充実。

飯岡玉うさぎ塾【西条市】

～小学校1年生の学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 1年生を対象に学習習慣の定着に努め、基礎学力の向上を図る。

活動場所	飯岡公民館	対象児童・生徒	小学1年生	対象学校区名	飯岡小学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	14	日	毎週水曜日	15 : 15 ~ 16 : 15
	土・日・休業日等		日	夏季休業中の月～金	: ~ :
児童・生徒の平均参加人数	12	人/日	学習支援員	2	人/日 教員OB
教育活動サポーターのべ人数	人			ボランティアのべ人数	人
活動内容	学習内容の復習などの学習支援、学習習慣			参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習に取り組む態度の育成**
 - ・ 学習での挨拶、返事、姿勢などを意識して指導を行い、しっかりと身に付けることができるようにする。
- **学習習慣の確立**
 - ・ 小学1年生として落ち着いて学習に取り組み、規則正しい生活ができるように支援する。
- **基礎学力の定着**
 - ・ 小学1年生の学習の読み書きや計算などの重要事項を復習し、基礎学力をしっかりと身に付けられるようにする。
- **学校や家庭との連携**
 - ・ 小学校とも学習の進捗を打ち合わせながら復習を行い、家庭へは学習習慣が身に付くよう声掛けをする。



(算数の学習)

児童の感想

- ・ 勉強が楽しい。国語の日付曜日がおもしろいです。
- ・ フラッシュカードと引き算をがんばったよ。
- ・ 先生にマルをもらってうれしかったです。

<特色ある取組>

- **小学校の学習への円滑な移行の支援**

幼稚園や保育園等から小学校に進学した児童は、学習面や生活面で様々な段階にある。学習指導を適切に行い、小学校の学習への円滑な移行を支援し、小1プロブレムの解消に努めている。

特に小学校の国語や算数の学習の復習を中心に行い、確実に基礎学力が身に付くようにしている。また、一斉学習や個別学習を行い、子どもたちの学びに個別に寄り添うよう努めている。



(国語の学習)

事業を実施して

【成果】

- 落ち着きのなかった児童も徐々に学習習慣が身に付き、落ち着いて学習に取り組める子も増えてきた。
- 基礎的な学力が定着してきている。

【課題】

- 学習する部屋が狭く、公民館の机や椅子が大人用ということもあり、小学1年生にとってより適した学習環境を整える必要がある。
- 効果的な取組ができるよう、学校との連携を進めたい。

西予市学び舎事業【西予市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人一人が目標を持って意欲的に学力向上を目指そうとする取組を支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の底上げを目指す。
- 子どもの学びを支援する。

活動場所	中川公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	多田小学校、中川小学校、石城小学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	日		:	～
	土・日・休業日等	22	日	毎週土曜日	9 : 00 ~ 11 : 30
児童・生徒の平均参加人数	8	人/日	学習支援員	5	人/日 教員OB
教育活動サポーターのべ人数	88	人	教員OB	ボランティアのべ人数	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応		参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組もう。**
友達と一緒に集中して学習に向かえる雰囲気の中で、落ち着いて真剣に学習に取り組む。
- **苦手を克服しよう。**
授業中、分かりにくかったところを指導者と一緒に学び、理解を深める。
宿題の分からないところを指導者とともに考え、苦手を克服する。
- **家庭学習の進め方を学ぼう。**
漢字の練習の仕方等、家庭学習の基本的なやり方を身に付ける。
「ながら勉強」から脱却し、集中して学習することにより、学ぶ楽しさや達成感を味わう。
- **学校や家庭との連携**
連絡帳を通して、学び舎の様子を知らせたり、学校や家庭での様子を共有したりする。

児童の感想

- ・ 分からなかったことが分かるようになったとき、うれしかった。
- ・ 宿題を出して、100点になると「やったー」と思う。
- ・ 漢字の覚え方が分かってきた。

保護者の感想

- ・ 日記の字が丁寧になったし、やさしく教えていただくのがうれしいようです。(家ではついつい怒ってしまいます。)
- ・ 土曜日に学び舎に行くのを楽しみにしています。



(指導者の方がたくさん来てくださいました)

<特色ある取組>

- **おっちゃんに教えてもらおう！**

地域の優しい方とともに学ぶ子どもたちは、土曜日に来るのを楽しみにしているようである。また、指導者の方々は、教職を退かれたベテランの方が多く、指導の仕方がとても上手である。そんな指導者とともに学ぶ子どもたちの瞳は、輝いている。
登下校の見守りや読み聞かせ等で顔なじみである地域の方に教えていただくことで、学習効果もあがるだろう。



(マンツーマンで指導してもらえます)

事業を実施して

【成果】

- 学んでいる子どもたちは、自ら進んで学習に取り組んでいる。
- 既存の学習塾には、なかなか通えなかった子どももいるが、学ぶことのうれしさや楽しさを感じているようである。

【課題】

- 学び舎を市内の各地域で開所したいが、指導者の確保が難しい。
- 学び舎の良さを家庭や地域に広め、西予市の子どもたちの主体的な学びを支えていきたい。

宇和島市補充学習事業【宇和島市】

～地域ぐるみで児童生徒の学力向上を図ろう～

◆活動の目的・理念

- 児童生徒一人一人の学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせる。
- 児童生徒の基本的な学習習慣を身に付けさせる。

活動場所	市内各小中学校	対象児童・生徒	小学1年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	小学校 17校 中学校 6校
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	60	日	月～金	15 : 00 ～ 17 : 00
	土・日・休業日等		日		
児童・生徒の 平均参加人数	17	人/日	学習支援員	2	人/日 教員OB、PTA会員、PTA会員OB、民生児童委員
教育活動サポーターのべ人数	57	人	教員OB、PTA関係者、NPO関係者	ボランティアのべ人数	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成			参加者募集	各小中学校ごとの募集

取組の概要

<主な取組内容>

- 希望者は誰でも、いつでも参加可能
 - ・ 学校行事や家庭の事情等の制約があっても、可能なタイミングでいつでも参加できるような体制を整えている。
- 複数の教材を使用した学習支援
 - ・ 授業プリントはもとより、県の提供する「学力強化シート」や各種計算ドリル、高校入試の過去問題等、複数の教材を用いて学習支援を行っている。
- 学校との連携
 - ・ 各学校の教員も補充学習に参加し、学習支援のサポートを行っている。



(実施場所も様々)



(少数精鋭で集中)



(マンツーマンでもサポート)

児童生徒の感想

- ・ 丁寧に個別指導をしてもらえるので質問しやすく、理解を深めることができる。
- ・ 実際にテストの点が上がり、自信がついた。
- ・ 静かな環境で勉強だけに集中することができる。

<特色ある取組>

- 学校ごとの開催日時の設定
 - ・ 本事業の開催日時を実施校全てで統一するのではなく、各学校の実情や支援員の配置体制に応じて、設定している。(例:「放課後は毎日」「週2日○曜日、△曜日」等)
 - ・ このことにより、個々の児童生徒に配慮した支援計画を立てることが期待される。



(緊張の一瞬・・・)

事業を実施して

【成果】

- 個々の学力がいかに向上了かは、にわかに結果として表れるものではないと考える。しかしながら、児童生徒の学習意欲の向上や学習の習慣化には寄与しているものと思われる。

【課題】

- 当市の単独事業として実施している『うわじま土曜塾』との連携